

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">会 議</div> ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	令和8年3月31日
名 称	令和7年度 第3回安平町町民自治推進委員会（第5期メンバー）		
日 時	令和8年3月27日 午前・ 午後 1時30分～3時30分		
場 所	安平町役場総合庁舎		
出席者 <small>（長職位を除き敬称略）</small>	委員 5名／12名中、課長以下3名 計8名		
会議概要	<p>1. 開会</p> <p>2. 委員長挨拶</p> <p>3. 議事</p> <p><u>(1) 前回会議の振り返り</u></p> <p><u>(2) 話し合う</u></p> <p>■令和7年度(上半期)町民参画の実施状況について</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントで意見がないものが2件あることから、意見がない場合は本委員会を活用（意見聴取の場）してはいかがか。 <p>■第3次安平町総合計画の策定について</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活基盤（街灯・道路）について、幹線道路は明るいですが、一歩中に入ると真っ暗な場所がある。通学路の安全確保のためにも改善が必要。 ・公園について、遊具の老朽化による撤去が進んでいる。管理（草刈り）の負担を減らす工夫や、全天候型の遊び場、ボール遊びができる広場へのニーズが高い。 ・地域格差（早来・追分・安平・遠浅）について、合併から20年経つが、依然として地区ごとの意識差がある。観光は追分、教育は早来といった「住み分け」が定着しつつある一方、商店街への波及効果などの課題も残る。 ・産業（農業）について、観光や教育が目立つ一方で、町の基幹産業である「農業」に関する議論や発信が不足しているのではないかとの指摘があった。 ・「住みやすさ（交通、医療、インフラ）」の重要度は高いが満足度が低い傾向にある。空港や高速道路、鉄道に近い利便性を「ほどよい田舎」としてどう維持・PRしていくかが鍵となる。 ・「とかいなか」移住者が表現した言葉。何も無いようであり、実は空港や都市部へのアクセスが抜群に良いという町の強みを象徴している。 ・主語を町民に、役場がやる計画ではなく、町民が自分事として捉えられる計画づくりが重要である。 <p>■提言書の作成に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月の任期満了を前に、これまでの議論をまとめた「提言書」を作成する。 ・パブリックコメントのあり方、公園整備への住民意見反映、アビラチャンネルを活用した担い手不足のPR、会議のあり方などを軸に構成を検討する。 		

(3) 事務局から報告

・次期委員の公募については、5月号の広報で告知し無作為抽出による依頼も行う。現メンバーの多くは7月で入れ替わりとなる。

【意見】

・会議の時間帯について現職の会社員等が参加しやすいよう、開催時間（日中か夜間か）についての配慮も今後の課題としてほしい。

4. その他

・次回（5-6月予定）が最終回となり、提言書のとりまとめを行う予定。